



茶式雜纂

七

ヲ多
784
7



鶴

茶
田ニヨリテ点前ノ法圖

門 彦 8
孫 484
卷 7

日修為東來堂と云

一 義政公所好ニテ被為建以東山海寺持照院



院内銀閣寺ハ西冬寺ノ初ニ世國ハ銀閣寺ニテ柱礎

三井寺と云也タル也ノ也ハ世國ハ銀閣寺ニテ柱礎

東山ハ像有持照院ハ義政公ノ所著持照所也

義政公ニ代同義祖ハ所好ニテ被為建ル世國

寺持院ハ院内金閣寺核ハ廊下ノヤリ成間アリ

ニテ世國ハ像有持照院ハ義政公ノ所著持照所也

柱礎ト云井寺と云也タル也ノ也ハ世國ハ銀閣寺ニテ柱礎

照美我光公等康安ノ像拾六所を等持院義
光公ノ所著持所之在テ所著今ニ云ル其像
有御像ハ時ノ寺ヨリ有ク

一 大園様所好ニテ被為建ハ大板所城ノ田ハ板屋
ニ并中板亦云ルニテ金ニテ被作付ハ元屋盤系入

其外盤亦云ル金ニテ有クトハ大板所城ヨリナシ
○紙ヤ
神宮 宗丹日記ハ系ハ金ニテハナシトアリ

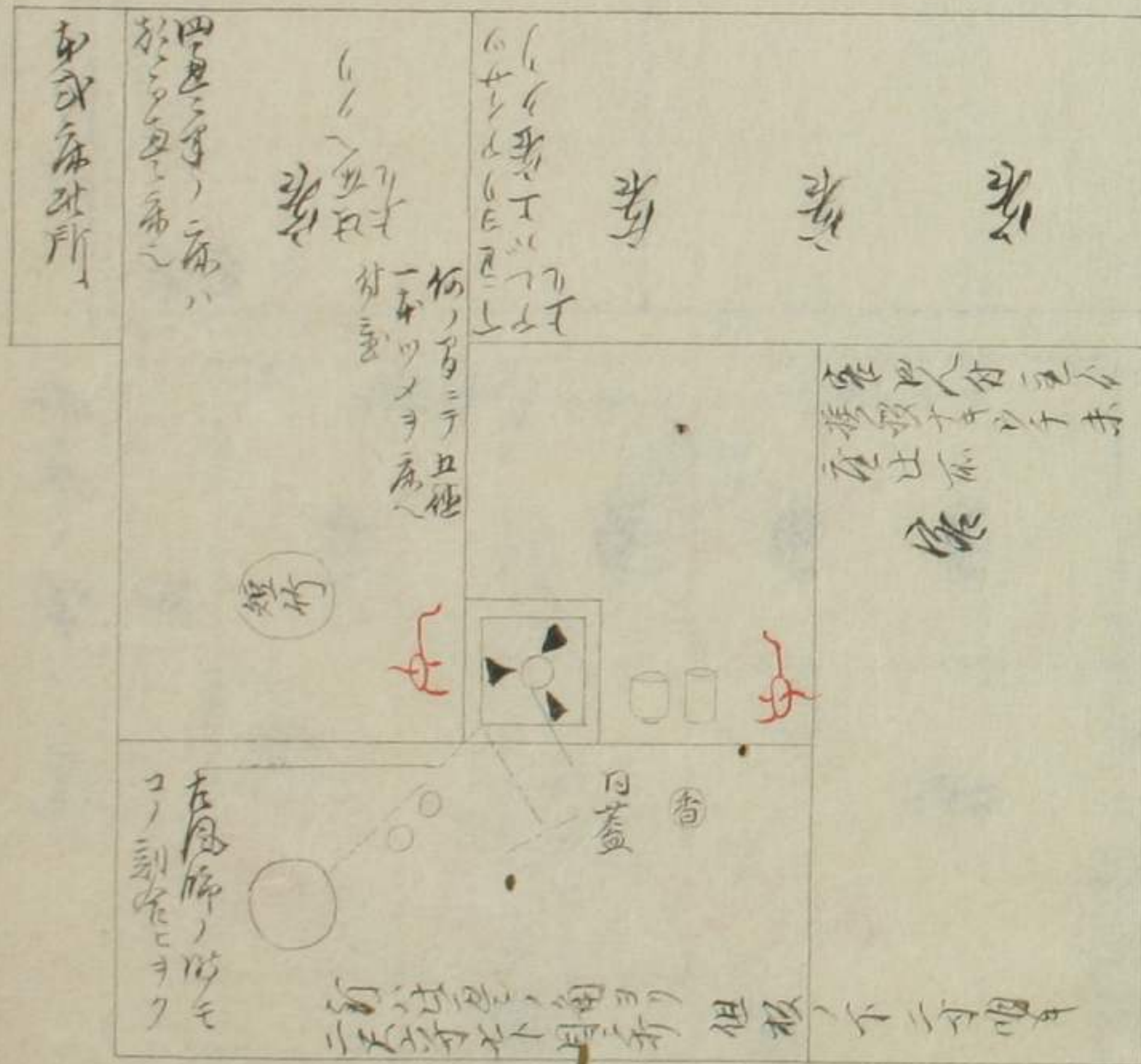
一 武ノ紹臨ハ沙界ノ隱者之武田信玄一族ト云フニテ
武野ト名乗ニ二十五歳ニテ京ヲ出テ出末川ノ末ノ

宮ノ隣天黒菴ヲ建名トシ今ハナシツノ江ヨリナキヤ
同者不知ク

一 昔ハ炬ヲ四疊半ノ半厚ヲクリ短大サ一尺四寸モサノ前
紹臨ト利休ト共禮ニテ炬一尺四寸四方ニシテ半疊ノ冬
ニセテ切シトニ被作付ハ金ヲ初葉身ノ大板所
所及々トヤウニ振ニ成タルニ

四五二の圖

四五二の圖
 二幅對折ノ在箱を以テト
 二幅對折ノ在箱を以テト



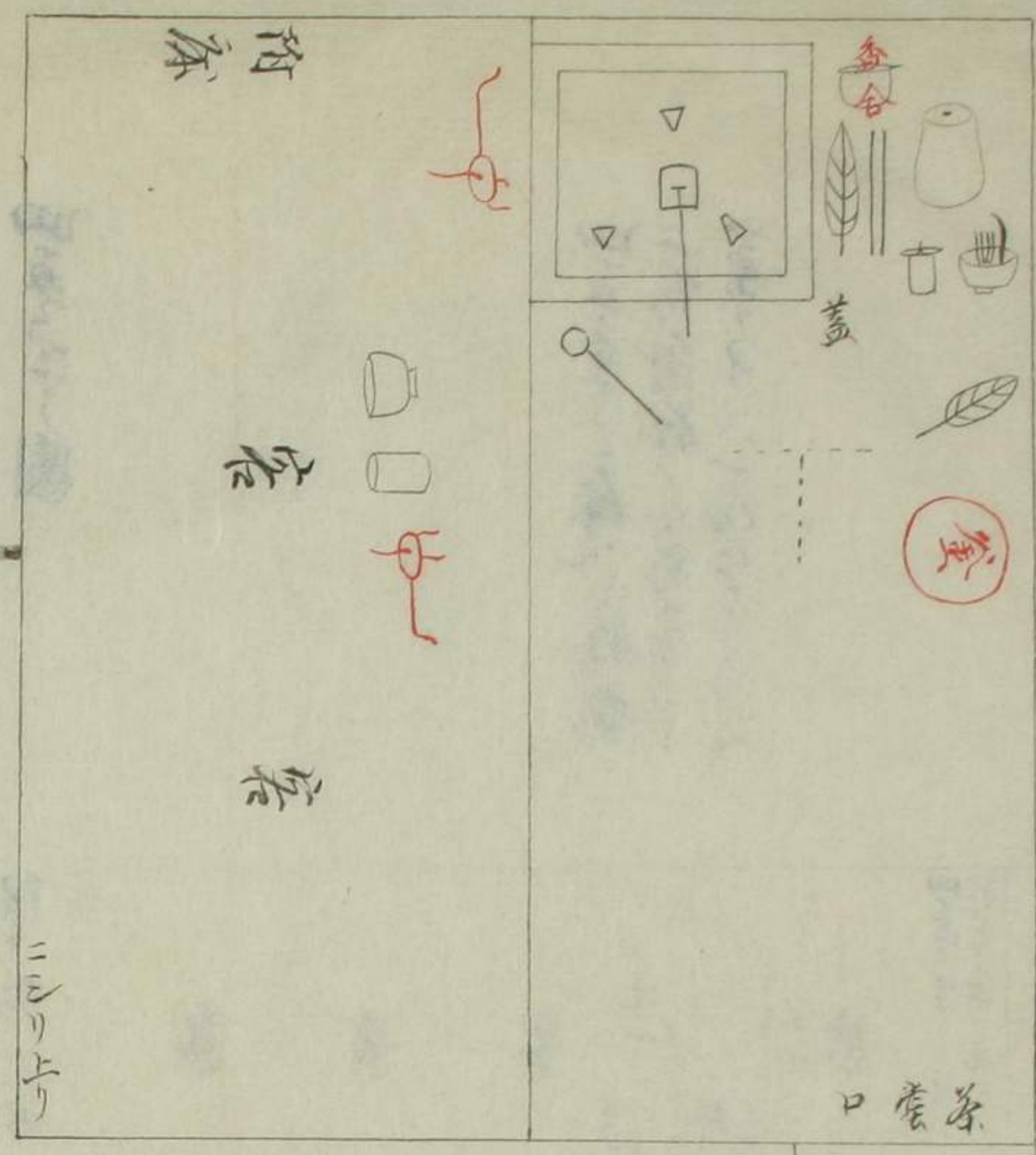
箱内ノ方機はハニノカニニ物通り
 一付ハ同ニ有リケレ
 箱内ノ方機はハニノカニニ物通り
 一付ハ同ニ有リケレ

箱内ノ方機はハニノカニニ物通り
 一付ハ同ニ有リケレ

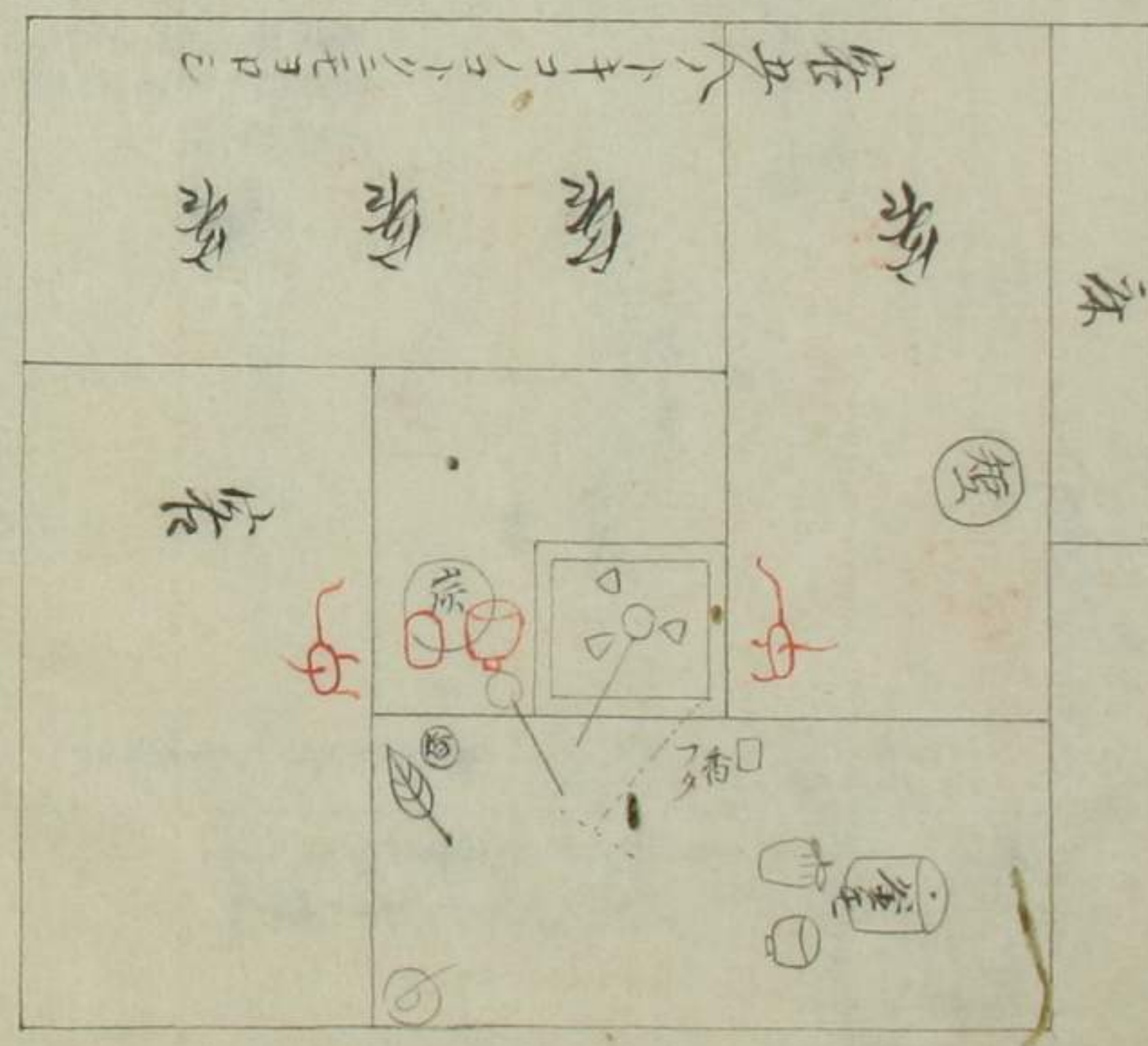
四五二の圖
 二幅對折ノ在箱を以テト

四五二の圖
 二幅對折ノ在箱を以テト

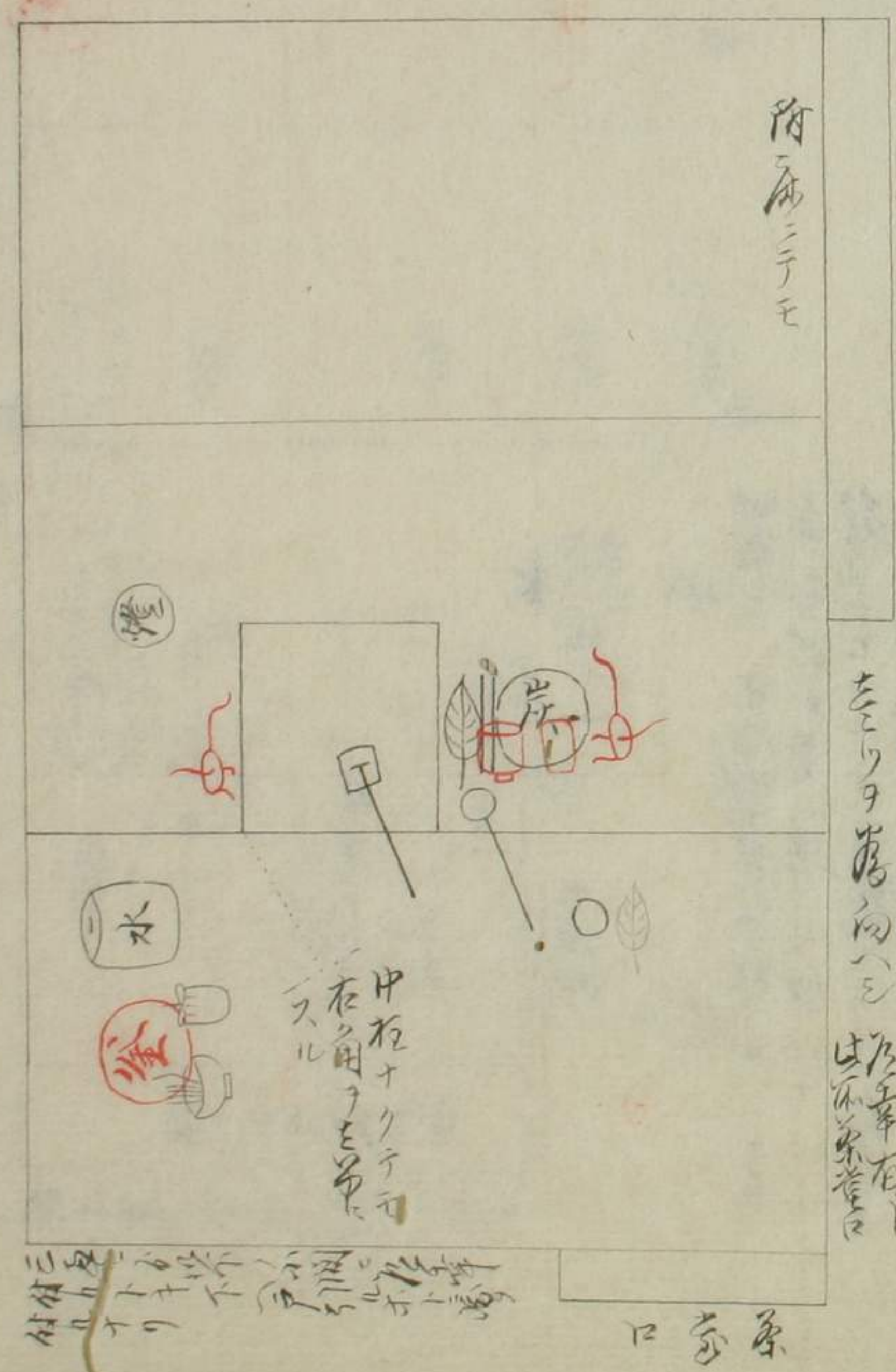
二五之庭



四五之庭



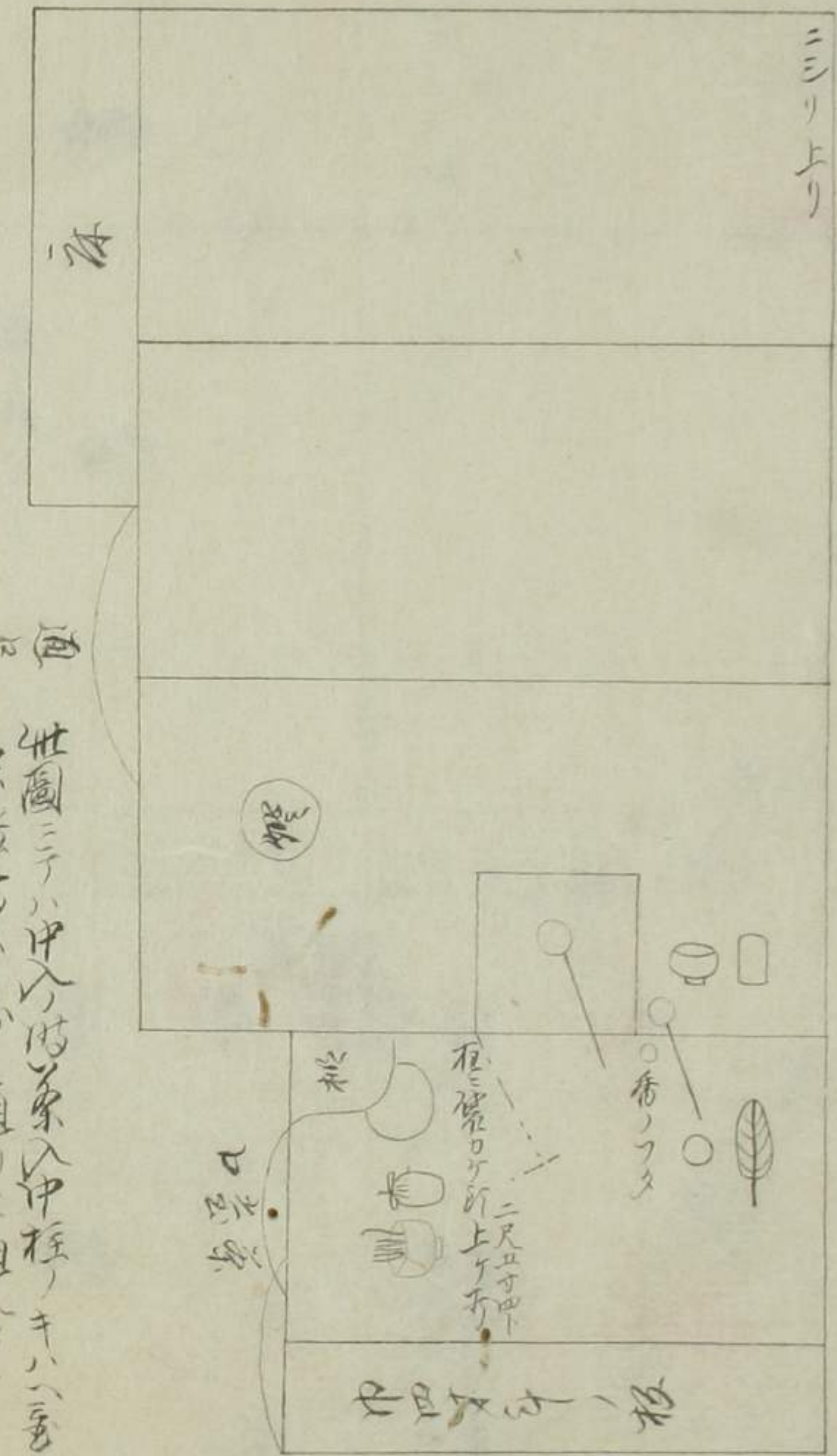
三五之庭
此三五之庭の藏形也



此庭の藏形也
此庭の藏形也
此庭の藏形也

此庭の藏形也
此庭の藏形也
此庭の藏形也

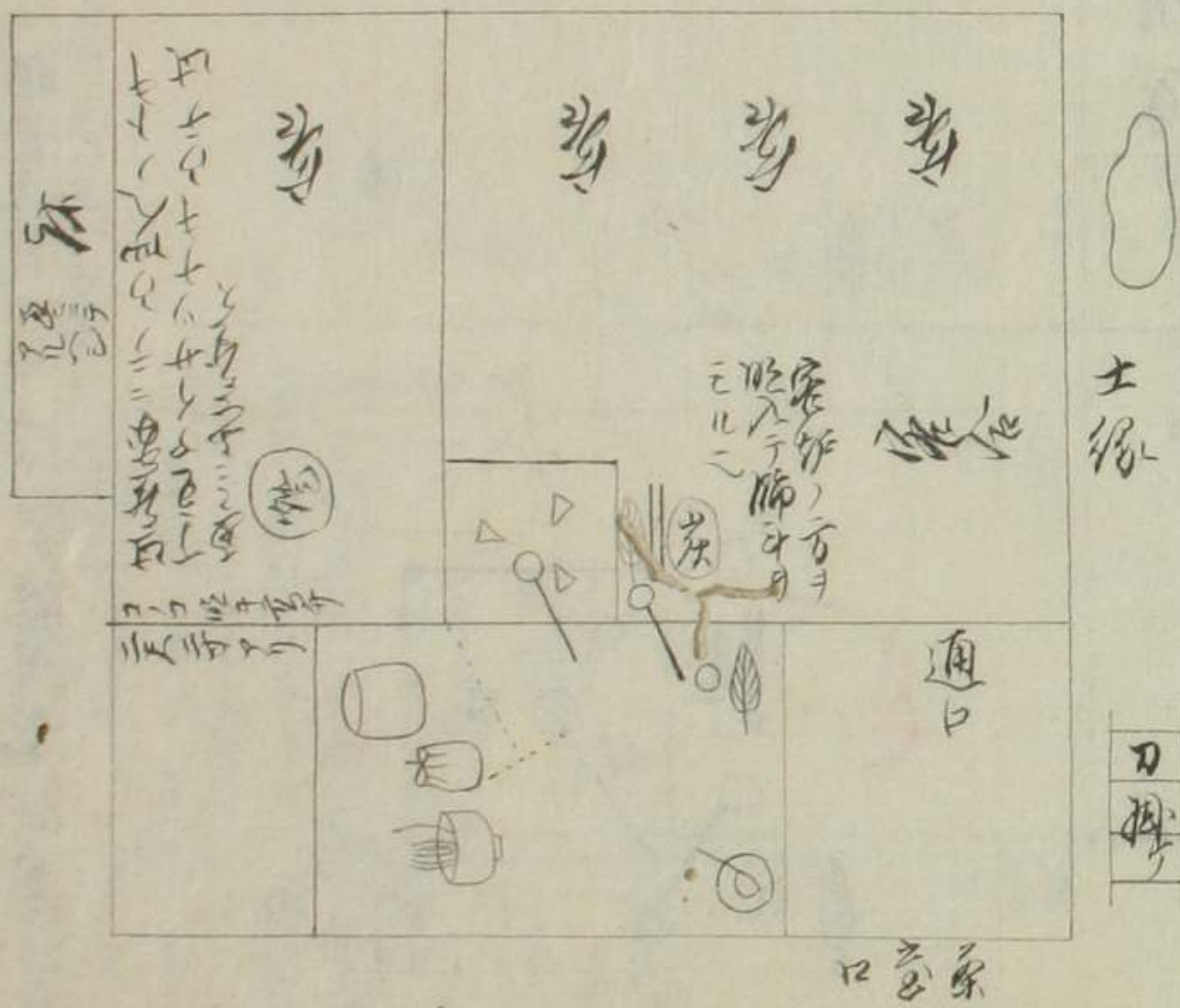
不審菴圖 二五五五五



此圖ニテハ中ノ時茶入申様ノキハハ等付
茶袋打お茶ノ通りモ組合ッ
猪ノ口ニヒラキスハ手物ヒラキ等
お茶ノ入ヒラキタテル

柳邊路行下

又玄翁膳者
三五五五



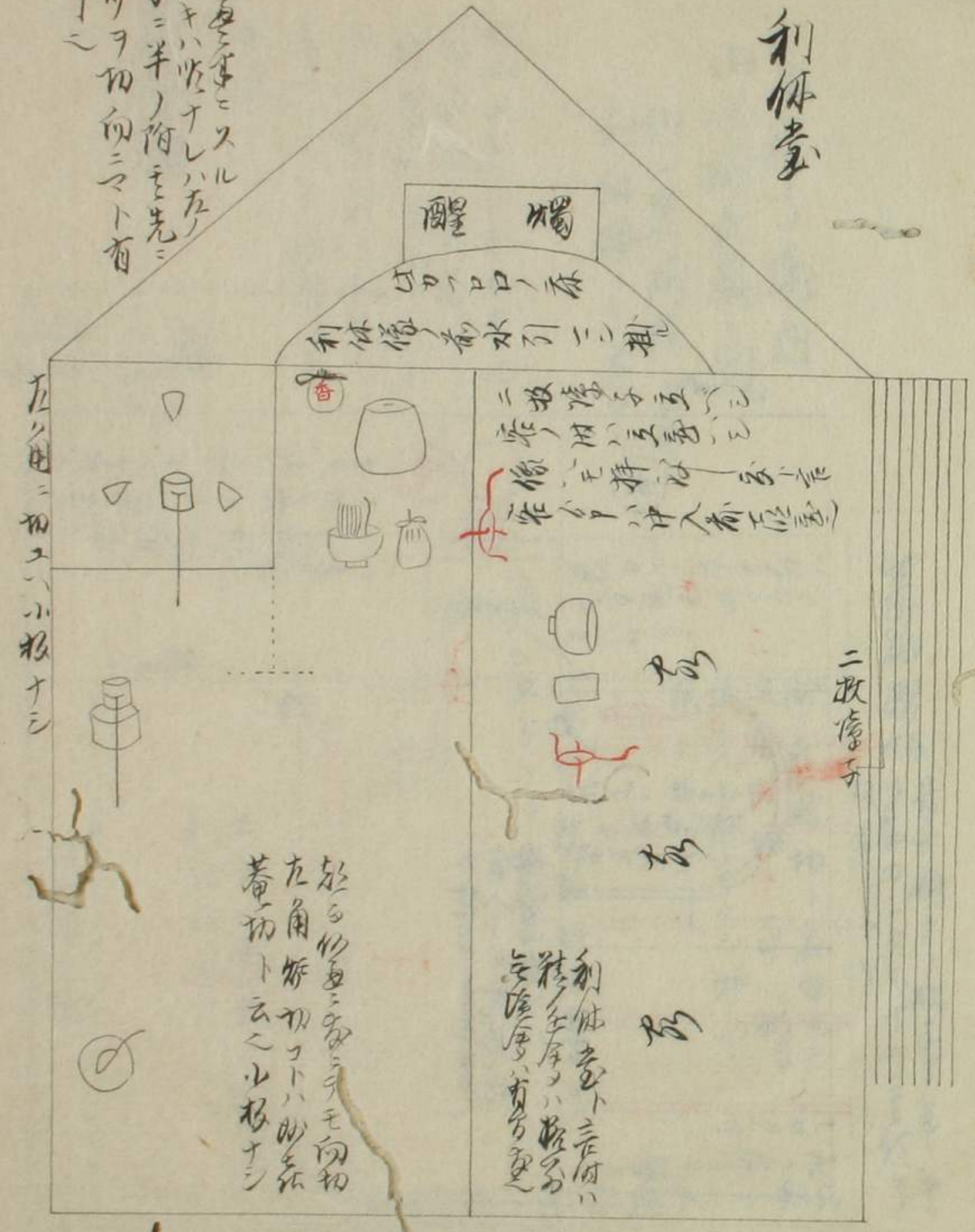
土俵

口掛

口茶

二反ニテスル
トキハハシレハ左ノ
方ニ半ノ附ニ先ニ
好ク切向ニマシ
可シ

利休臺

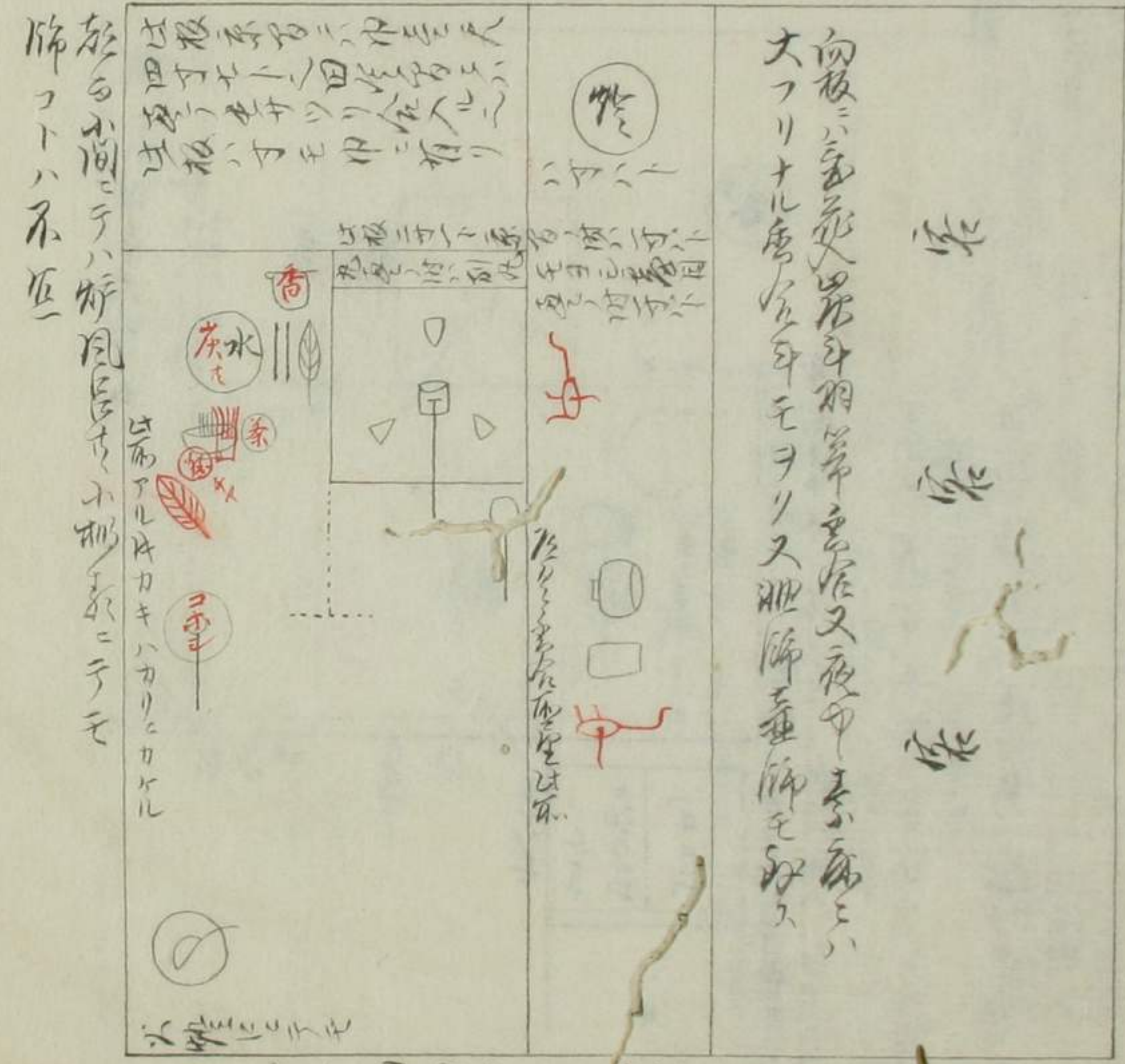


左ノ角ニ切向ニマシ
右ノ角ニ切向ニマシ
蓋切ト云ニハ根ナシ

利休臺トテ何ハ
能ク在存ハハ根ナシ
ニテ障子ノ前ニ

申候有ニテ
但事聞ニ

此間ニ掛燭ニテハ
此ノ大ナクハ

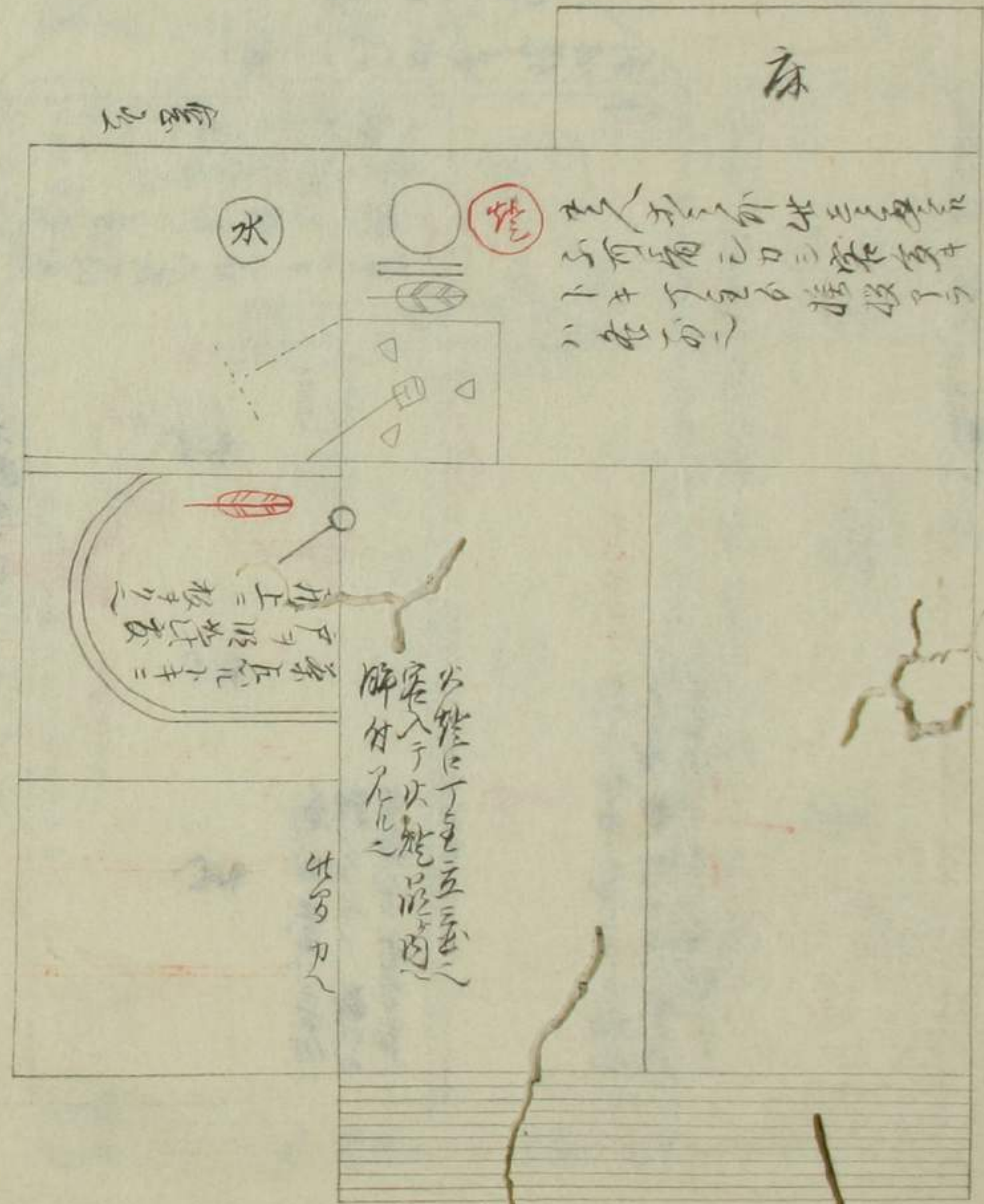


向候ニテハ
大フリナル唐ノ
向候ニテハ
大フリナル唐ノ

此ノ大ナクハ
此ノ大ナクハ

此ノ大ナクハ
此ノ大ナクハ

道安圖



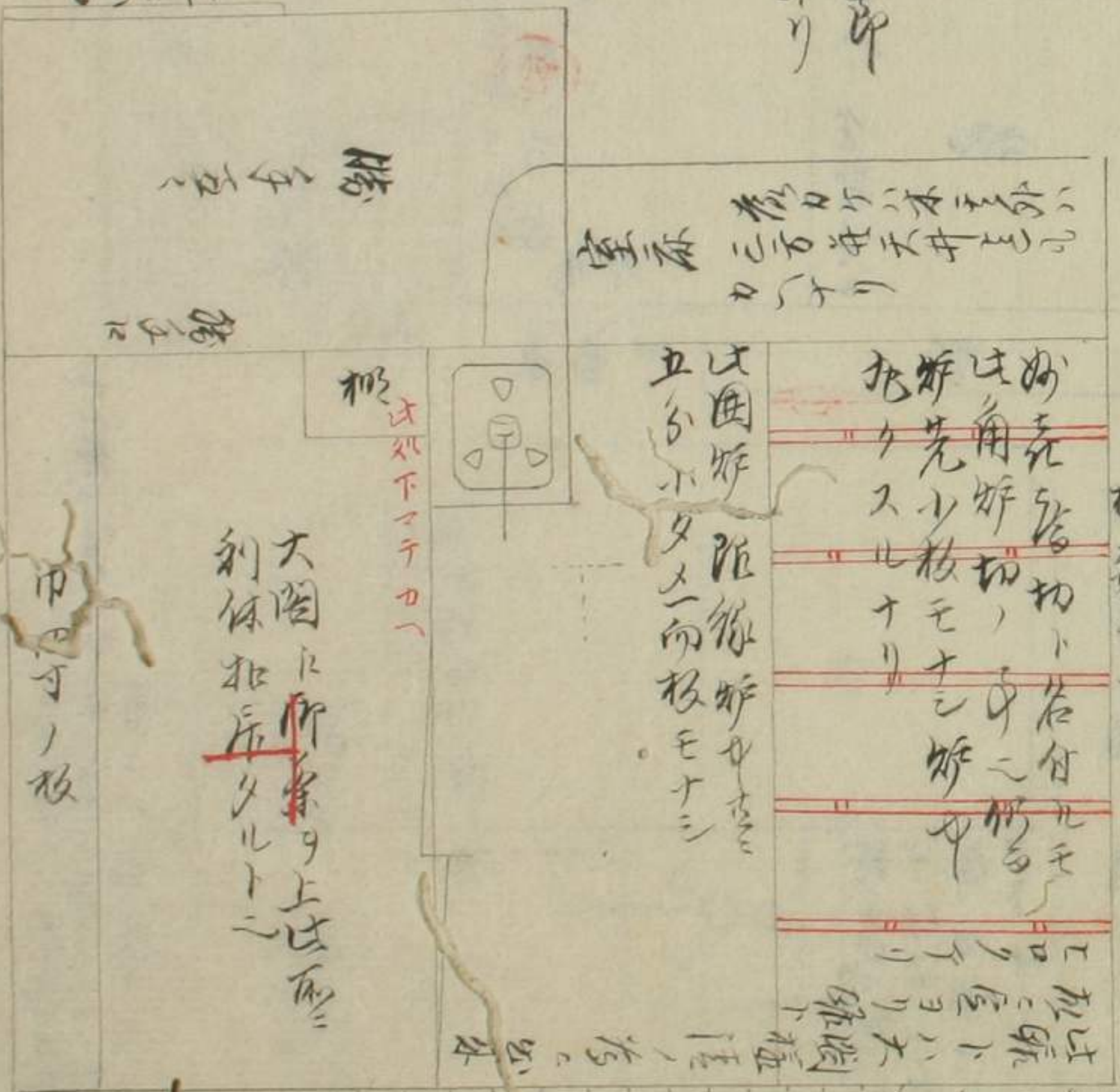
此の形は昔大樹クノ形
 今可成ニカニ成候事
 トキトモ自指候事
 在(一)

此の形は昔大樹クノ形
 今可成ニカニ成候事
 トキトモ自指候事
 在(一)

東福寺境内
 山崎妙在菴三圍
 但山崎所陳之書
 利休好ニテ建テリ

廿四五年以前此の形
 宗五妙在菴ヨリ
 後移カレテ建テリ
 此の形は昔大樹クノ形
 今可成ニカニ成候事
 トキトモ自指候事
 在(一)

二天口
 在法照ノ家ニ
 二天口ノ形



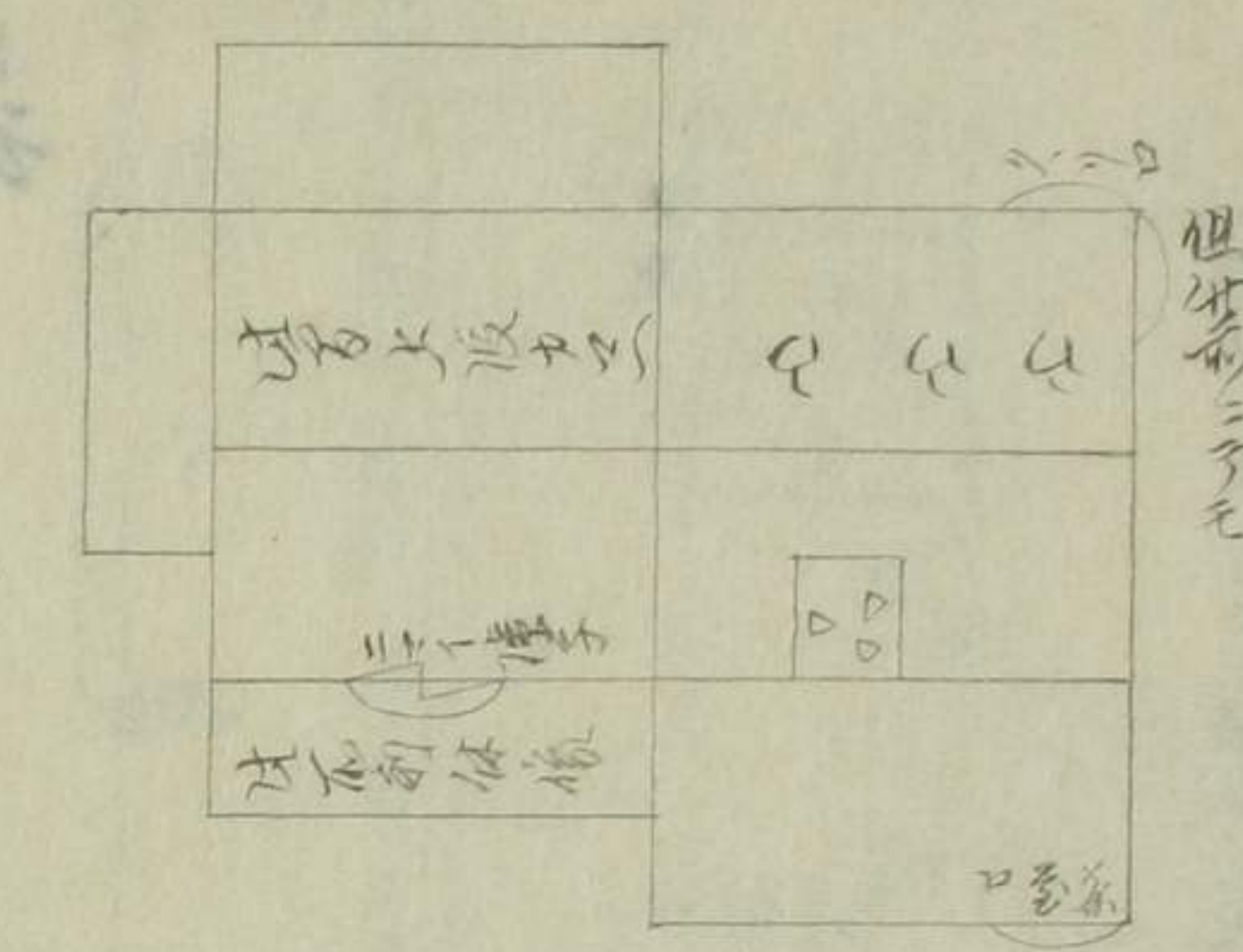
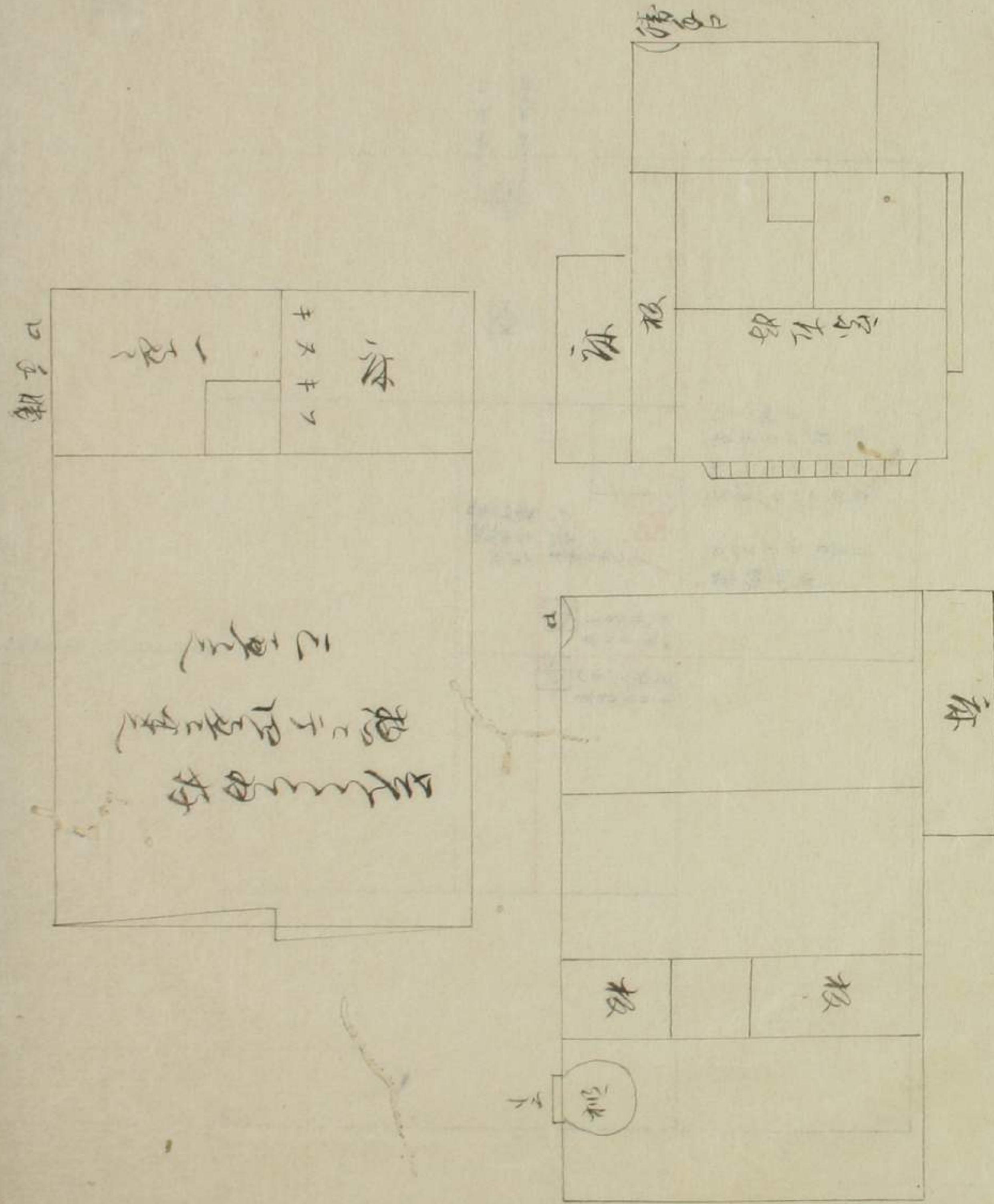
昔大樹クノ形
 今可成ニカニ成候事
 トキトモ自指候事
 在(一)

此の形は昔大樹クノ形
 今可成ニカニ成候事
 トキトモ自指候事
 在(一)

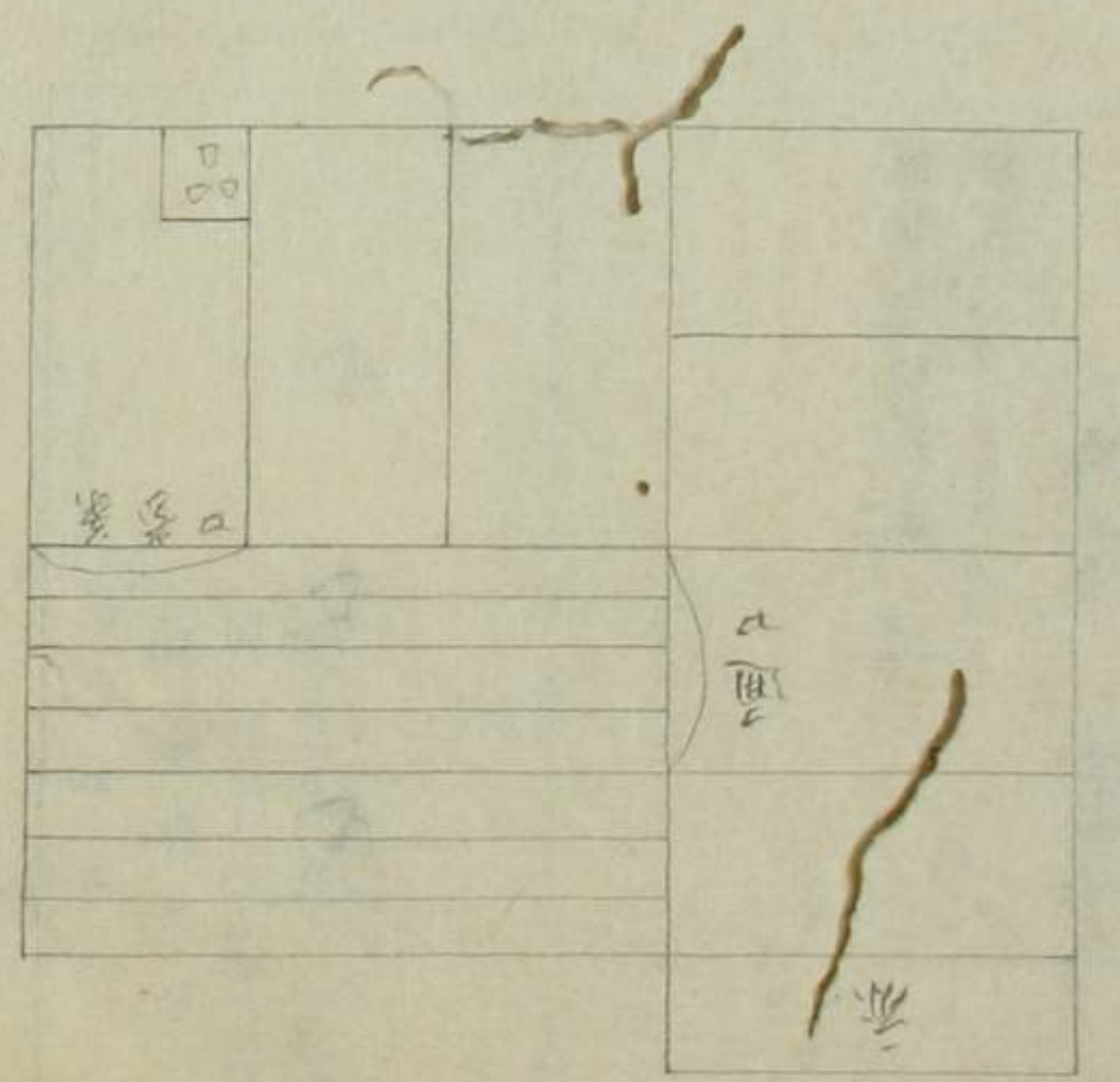
大園ノ所
 利休好ニテ建テリ

巾着ノ板

外



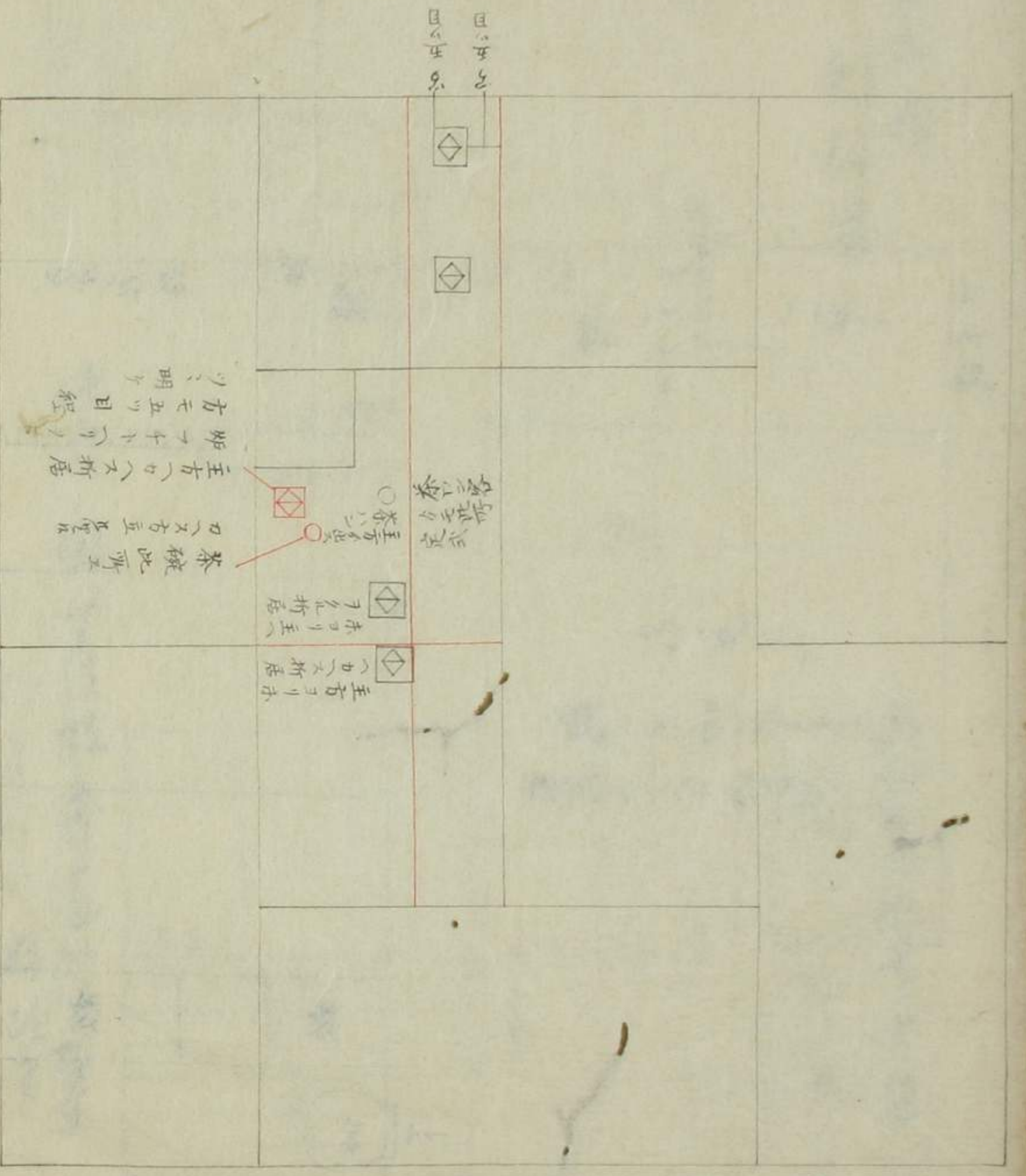
此の二つ、同じく用ひたは、板の厚さ、
 好むに依りて、



室の好む
 利便なる

如何なる好むと、其の好むに依りて、
 は、同じく、用ひたは、板の厚さ、
 申入ク、リ、リ、方、は、カ、リ、アリ

花月定式



10

11

